

平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 2 月 7 日

上場会社名 王子ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3861 URL <http://www.ojiholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進藤 清貴
 常務グループ経営委員
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートガバナンス本部 (氏名) 武田 芳明 (TEL) 03(3563)1111
 副本部長

四半期報告書提出予定日 平成 26 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 3 四半期	981,606	6.0	45,633	13.5	51,694	44.0	25,151	29.3
25 年 3 月期第 3 四半期	925,763	0.6	40,213	△17.2	35,905	△5.1	19,447	1.9

(注) 包括利益 26 年 3 月期第 3 四半期 77,804 百万円 (288.3%) 25 年 3 月期第 3 四半期 20,035 百万円 (128.7%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26 年 3 月期第 3 四半期	25	47	25	45
25 年 3 月期第 3 四半期	19	70	19	68

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		一株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
26 年 3 月期第 3 四半期	1,927,761		647,746		29.1	567	26	
25 年 3 月期	1,831,251		579,128		27.6	511	95	

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 3 四半期 560,438 百万円 25 年 3 月期 505,483 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25 年 3 月期	—	5.00	—	5.00	10.00	—
26 年 3 月期	—	5.00	—	—	—	—
26 年 3 月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	1,340,000	7.9	63,000	20.3	58,000	6.3	30,000	17.2	30	38

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,064,381,817株	25年3月期	1,064,381,817株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	76,412,532株	25年3月期	77,022,463株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	987,517,434株	25年3月期3Q	987,185,016株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、円安・株高等により国内経済は回復の兆しが見られるものの、欧州経済の低迷・新興国の景気減速等による世界経済の下振れ懸念もあり、全体として不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、海外事業の一層の拡大、産業用フィルムを始めとする機能材製品群の生産能力増強、最適生産体制の構築、発電事業の強化などの事業構造転換諸施策を進めています。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高981,606百万円(前年同四半期比6.0%増収)、営業利益45,633百万円(同13.5%増益)、経常利益51,694百万円(同44.0%増益)、四半期純利益25,151百万円(同29.3%増益)となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりです。

○生活産業資材

当第3四半期連結累計期間の売上高は、411,023百万円(前年同四半期比0.2%減収)となりました。

国内事業では、段ボール原紙・段ボールは、青果物向け等の堅調な推移により販売量は増加しました。白板紙・包装用紙の販売量は横這いとなりました。家庭用紙は、価格改定等の影響により減少しました。

海外事業では、主要な事業展開地域である東南アジアにおいて、段ボール原紙の販売は堅調に推移し、段ボールの販売も飲料・加工食品関連を中心に堅調に推移しました。

○印刷情報メディア

当第3四半期連結累計期間の売上高は、234,306百万円(前年同四半期比4.2%減収)となりました。

新聞用紙の販売は、緩やかな部数の減少と前年度のロンドンオリンピック開催影響の反動等によるページ数の減少から、前年を下回りました。印刷・情報用紙の販売は、円安進行等による輸入紙の減少等により販売量は増加したものの、売上高は横這いに推移しました。

○機能材

当第3四半期連結累計期間の売上高は、161,317百万円(前年同四半期比12.1%増収)となりました。

国内事業では、特殊紙は、新製品開発・新規顧客開拓による拡販に努めたものの既存製品群の需要低迷により国内販売は減少しましたが、輸出版売は新規顧客開拓および電気部品の好調により増加しました。感熱紙の販売は増加しました。

海外事業では、感熱紙の販売は、北米・南米・欧州・アジアの各地において堅調に推移しました。

○資源環境ビジネス

当第3四半期連結累計期間の売上高は、135,376百万円(前年同四半期比54.4%増収)となりました。

国内事業では、パルプの販売は増加し、木材の販売は需要の回復により増加しました。また、北海道白糠町において第2四半期より太陽光発電事業の営業を開始しました。

海外事業では、パルプの販売は、ニュージーランド子会社での漂白機械パルプの本格生産化、2012年度第1四半期末より連結子会社化したブラジル子会社の大きな寄与により増加しました。木材の販売は、ニュージーランド、中国及び東南アジア子会社での販売が増加しました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比し96,509百万円増加して、1,927,761百万円となりました。流動資産は49,408百万円増加し、固定資産は47,101百万円増加しました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比し27,891百万円増加して、1,280,014百万円となりました。なお有利子負債は前連結会計年度末に比し、12,818百万円増加し、843,923百万円となりました。

純資産につきましては、68,617百万円増加して、647,746百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2013年5月15日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,621	67,648
受取手形及び売掛金	269,137	299,663
有価証券	7,144	7,255
商品及び製品	84,877	85,029
仕掛品	17,655	23,117
原材料及び貯蔵品	60,554	65,790
その他	48,580	38,535
貸倒引当金	△3,071	△2,130
流動資産合計	535,499	584,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	203,363	201,347
機械装置及び運搬具(純額)	375,841	378,152
土地	236,091	235,772
その他(純額)	275,347	304,803
有形固定資産合計	1,090,645	1,120,075
無形固定資産		
のれん	14,806	14,624
その他	10,954	10,621
無形固定資産合計	25,760	25,246
投資その他の資産		
投資有価証券	150,294	168,411
その他	31,073	30,594
貸倒引当金	△2,022	△1,474
投資その他の資産合計	179,345	197,530
固定資産合計	1,295,751	1,342,853
資産合計	1,831,251	1,927,761

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,921	227,585
短期借入金	307,841	220,527
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
1年内償還予定の社債	20,160	20,100
未払法人税等	5,371	7,812
引当金	857	1,326
その他	82,974	71,349
流動負債合計	628,127	558,701
固定負債		
社債	140,160	160,090
長期借入金	362,943	433,206
引当金		
退職給付引当金	53,232	54,788
役員退職慰労引当金	1,580	1,485
訴訟損失引当金	4,361	4,655
環境対策引当金	1,723	1,729
特別修繕引当金	131	129
引当金計	61,028	62,788
その他	59,863	65,228
固定負債合計	623,995	721,313
負債合計	1,252,122	1,280,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	112,930	112,957
利益剰余金	320,086	336,196
自己株式	△43,140	△42,896
株主資本合計	493,756	510,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,100	25,931
繰延ヘッジ損益	△252	△376
土地再評価差額金	4,875	4,213
為替換算調整勘定	△8,997	20,530
その他の包括利益累計額合計	11,726	50,299
新株予約権	235	284
少数株主持分	73,410	87,023
純資産合計	579,128	647,746
負債純資産合計	1,831,251	1,927,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
売上高	925,763	981,606
売上原価	717,767	763,834
売上総利益	207,995	217,772
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	88,898	91,804
その他	78,883	80,333
販売費及び一般管理費合計	167,781	172,138
営業利益	40,213	45,633
営業外収益		
受取利息	606	894
受取配当金	2,577	2,528
為替差益	3,024	12,897
持分法による投資利益	473	1,394
その他	3,118	2,885
営業外収益合計	9,800	20,600
営業外費用		
支払利息	8,860	8,239
その他	5,248	6,300
営業外費用合計	14,108	14,540
経常利益	35,905	51,694
特別利益		
固定資産売却益	61	1,781
負ののれん発生益	535	—
その他	41	238
特別利益合計	638	2,020
特別損失		
事業構造改善費用	911	4,248
減損損失	138	2,043
固定資産除却損	1,783	1,463
持分法適用関連会社の連結子会社化に伴う損失	858	—
その他	3,666	1,134
特別損失合計	7,358	8,890
税金等調整前四半期純利益	29,185	44,823
法人税、住民税及び事業税	7,769	12,447
法人税等調整額	△346	2,344
法人税等合計	7,422	14,792
少数株主損益調整前四半期純利益	21,763	30,031
少数株主利益	2,315	4,880
四半期純利益	19,447	25,151

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,763	30,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△573	9,543
繰延ヘッジ損益	△639	△115
為替換算調整勘定	△8,522	37,068
持分法適用会社に対する持分相当額	8,008	1,275
その他の包括利益合計	△1,728	47,772
四半期包括利益	20,035	77,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,834	64,386
少数株主に係る四半期包括利益	△798	13,417

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2012年4月1日 至 2012年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	印刷情報 メディア	機能材	資源環境 ビジネス					
売上高									
外部顧客への売上高	384,233	215,863	131,779	54,922	786,798	138,964	925,763	—	925,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,779	28,589	12,108	32,773	101,250	73,581	174,831	△174,831	—
計	412,012	244,452	143,887	87,696	888,048	212,546	1,100,595	△174,831	925,763
セグメント利益 又は損失(△)	21,635	△1,229	7,881	6,558	34,846	5,026	39,873	340	40,213

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業・機械事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 340百万円は、主として内部取引に関わる調整額です。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2013年4月1日 至 2013年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	印刷情報 メディア	機能材	資源環境 ビジネス					
売上高									
外部顧客への売上高	381,571	210,351	146,762	97,308	835,994	145,612	981,606	—	981,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,452	23,955	14,554	38,067	106,030	77,210	183,240	△183,240	—
計	411,023	234,306	161,317	135,376	942,024	222,823	1,164,847	△183,240	981,606
セグメント利益 又は損失(△)	16,838	△2,517	9,018	16,048	39,387	5,682	45,070	562	45,633

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業・機械事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 562百万円は、主として内部取引にかかる調整額です。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。